

No. 881

名 幹 事 大 学

忘年会、新年会のシーズンをひかえて、頭を痛める幹事さん。この世の中無芸なサラリーマンも少なくありません。

——サラリーマンは宴会も仕事のうち——それに目をつけ今年もインスタントに幹事の手際と芸を覚えようという「名幹事大学」が開かれました。

都々逸講座からゴーゴー講座と至れりつくせり。生徒も40代が最も多く「サラリーマンは夜も評価される」とかくし芸の習得に真剣な表情です。

太 陽 を 返 せ

木々の間から降り注ぐ太陽、そのやわらかく温かい日射しはもう冬だ。人々は日溜まりを求め集まって来るがすぐ太陽の有難みを忘れてしまう。マンションブームを反映してか、雨後の筍のように建ち並ぶ高層建築は一方ではその陰に泣く人々を生んだ。自分の家のすぐ側に大きなビルを作られたある主婦は「一日中日カゲになってしまい、家はまるで冷蔵庫のよう、洗濯物は乾かないし、湿っぽくなった庭にはコケがはえました。20年も住み慣れた我が家を今さら引起す気にもなれず……」こんな住民の嘆きをよそに、建築法に違反していないからと民間業者の申請はすべて認可する都や区。住民は「マンション建設反対」と業者とひざ詰め談判、更には「日照権を守ろう」と24団体が市民集会を開いた。「経済大国日本」をバックに着々と進む巨大なビルの建築、このビルがその美しい容姿を人々の前に現わす時、日陰に泣く家々がまた生まれる。